

平成23年度事業報告書

I 保存普及事業（寄附行為 第4条第1号該当）

(1) 鉄道遺産等普及事業

明治26年(1893)横川・軽井沢間に官設鉄道が開通して以来120年余に亘り育まれて育ってきた鉄道文化遺産は、今も多くの重要な施設と人材を残している。

めがね橋や旧丸山変電所などの重要文化財だけではなく、ED42やEF63等の電気機関車に代表されるハード部分の遺産と、旧国鉄職員に代表されるソフト部分の遺産も、当該地域には数多く残されている。

また、経済産業省の近代化産業遺産にも認定されており、さらに近年世界遺産候補の絹産業遺産群の関連施設として碓氷峠鉄道施設も注目を集めている。

これらの豊富な遺産を活用し、広く情報収集を行い、定期的に「紀要」を発行する。この「紀要」の積み重ねにより、碓氷峠文化の集大成を目指していく。

甦る碓氷線 「鉄路が峠を越えた ― 峠の鉄路を支えた人々 No.12」を作成

(2) 情報発信事業（寄附行為 第4条第2号該当）

① 碓氷峠を紹介する資料の発行

歴史と自然豊かな碓氷峠を広く紹介するための資料とするとともに碓氷峠（アプトの道）を散策をするガイドブックとしても役立つ案内及び説明資料の発行を行った。

峠ウォッチング「碓氷線絵地図」B5版変形16ページ 118冊販売

② ホームページによる情報提供

前年に引続きインターネットのホームページを利用し、四季折々変化する碓氷峠等周辺の情報及び碓氷峠鉄道文化むら・碓氷峠の森公園交流館「峠の湯」・碓氷峠くつろぎの郷コテージ・財団の状況・イベント等の情報を提供した。

③ 碓氷峠鉄道文化むらをより楽しんでいただく為の冊子を発行

・展示車両BOOK

碓氷峠鉄道文化むらの展示車両やジオラマの車輛を詳しく紹介した冊子の作成。小学生以下がターゲットで漢字にはふりがなを振り、自分で記入する欄や記念スタンプを押すスペースを設けた。（171冊販売）

・碓氷峠鉄道文化むら自由研究ノート

主に小学生以下をターゲットとし、展示物を見て自分で書き込み、夏休み等の自由研究や学校行事の学習の資料として活用できる冊子の作成し、学校関係等に配布した。

○56冊販売、市内の小中学校遠足での来園者61名に配布。

④安中市観光誘客プロジェクト「デジタル案内板」の利用促進を実施。

(3) 交 流 事 業 (寄附行為 第4条第2号該当)

① 遺産とふれあう交流事業「碓氷線ウォーキング」の開催

徒歩の時代から難所と知られた碓氷峠には、今も碓氷関所、坂本宿等の中山道時代の街道遺産や絹産業群の世界遺産登録の候補地に指定された碓氷第三橋梁「めがね橋」や丸山変電所等の鉄道施設の遺産が数多く残っています。これらの遺産と、碓氷湖や碓氷峠の自然景観を見ながら当時のエピソード等を聞き「峠の歴史」にふれてもらうため、アプトの道ウォーキングトレイルや自然遊歩道を利用してウォーキング事業を実施予定でしたが、5月・6月は震災の影響を考慮して中止。また、10月・11月は参加者少数の為に催行出来なかった。

② 冬期ふれあいイベントの開催

碓氷峠の森公園を会場にイルミネーションを点灯し地域住民及び施設利用者等のふれあいの場を提供すると共に地域の定例化を図ろうとしたが、震災後の節電で中止。

③ 第12回碓氷峠紅葉の俳句大会の開催

碓氷峠は古来より、紅葉の美しさでも知られ、唱歌「もみじ」の作詞の場でもある。その峠の四季の美しさを俳句で表現することにより、峠の自然並に歴史などについて理解を深めてもらう為に開催。

俳句大会実施日 11月3日(木)文化の日 会場：碓氷峠の森公園周辺

応募による投句 97名 187句

当日参加者 27名 54句

④ 碓氷峠鉄道文化むらファンクラブ「友の会・333名」の運営

財団の趣旨に賛同される方から会費(個人2,000円)を募り碓氷峠鉄道文化むらファンクラブ「友の会」の運営を実施。

会員特典 ○入園料の割引(20%)・EF63電気機関車運転体験受講料の割引。

○機関誌「とうげ」No.44～No.47号を発行。

○ボランティア活動の参加等。

⑤ 碓氷峠に関連する各種事業への協力

○ 碓氷峠周辺緑化促進「もみじの植栽」事業共催。

○ 鉄道文化むらと峠の湯周辺でモデル撮影会の後援。

○ 安政遠足侍マラソンの後援。

○ 伝統の絹製品と安中市物産市を峠の横丁で3回開催を協賛。

○ 鉄道遺産群を愛する会ウォーキング協賛。

⑥ 安中市民の憩いの場とし市内居住者の交流館(峠の湯)利用者の利便を図る。

☆ 70歳以上の高齢者を対象に熟年割引優待券(入館料3時間200円)

1人あたり12枚配布。

○ 利用者数 5,795名

☆ 市内居住全世帯へ世帯別割引優待券（入館料3時間大人300円・小人200円）を一世帯当たり10枚を配布。

○ 利用者数 27,633名

⑦ 福祉シャトルバスの運行事業

○ シャトルバス運行 195日 乗車人数 6,001名

II 公共施設の管理運営事業（寄附行為 第4条第3号該当）

(1) 碓氷峠鉄道文化むら管理運営事業

① 「資料館・展示館・屋外展示場及び付帯施設等」の適切な管理運営を実施。

☆ 展示車両及び展示資料などの適切な管理運営の実施。

○ ボランティアによる展示車両の清掃、洗浄を12回実施。

☆ 施設及び設備等の点検修理、並びに屋外展示車両の塗装及び修理等の実施。

○ 展示車両3両（EF70 EF60 DD511）の塗装実施。

○ 2フィート踏切枕木交換修理実施。

（参考）EF63-24号機の台車整備を安中市で実施。

☆ 園内及び駐車場・バス等乗務員休憩室の清掃（毎日）等を実施。

② EF63形電気機関車運転体験事業

実車を運転できることで、鉄道ファンの夢を実現させ、鉄道への理解及び親しみを深めるため、碓氷峠専用機関車の運転体験の実施。

☆ 学科修了後指導機関士により保存運転線区間往復800mの実車運転体験。

☆ 学科講習 毎月第1・3土曜日に実施。

○ 実施回数24回 受講者190名（内 女性10名）

☆ 運転体験実施

○ 実施日310日 体験者2,470名

③ トロッコ列車「シェルパくん」の運行管理事業

鉄道文化むらから交流館(峠の湯)間に園内遊具としてトロッコ列車を運行し両施設利用及び碓氷峠周辺の観光の促進を図る。

○ 土曜日・日曜日・祝日・夏休みを基本に運行した。4月に機関車リターダーが不調となり「まるやま駅」までの運行としたが5月5日には故障のため運休となり、7月1日よりレンタル機関車で「まるやま駅」までの運行を再開、翌2月から修理後のDB201による運行となるが「まるやま駅」までの往復となっている。

運行回数 1,278回 乗車人数 73,203名

④ 2フィート蒸気機関車・DL機関車「あぶとくん」の運行管理事業

○ 土曜・日曜・祝日・繁忙日は蒸気機関車、平日はDL機関車を運行。

- ⑤ ミニSL・ファミリー列車の運行管理業務
 - ミニSLは10分間隔を基本に運行。
 - ファミリー列車は繁忙日の12時～13時を基本に運行。
- ⑥ 横川軽井沢間の鉄道施設の除草事業
 - トロッコ列車機関車のブレーキ故障により実施出来なかった。
- ⑦ 矢の沢川親水公園管理事業
 - 草刈り・ゴミ拾い等の清掃を5回実施。

(2) 碓氷峠の森公園交流館【峠の湯】管理運営事業

- ① 交流館【峠の湯】の適切な管理運営を実施。
 - 1月14日 入館者200万人達成
- ② 送迎バス等の運行事業
 - 地域住民の交流館利用促進を図るため、団体利用者等の送迎バスを運行。
 - 運行回数 61回 送迎人数 993名
- ③ 季節のイベント、キャンペーンの実施。
 - 6 月 お客様感謝大抽選会
 - 7・8月 駄菓子らせんや
 - 7・8月 キッズコーナーの設置
 - 10 月 県民の日ドリンクサービス
 - 11・12月 クリスマスデコレーション
 - 12 月 キッズコーナーの設置
 - 12 月 歳末大抽選会
 - 12・1 月 正月飾り
 - 1 月 まゆ玉飾り
 - 合計参加者数 66,792名
- ④ 碓氷峠の森公園管理業務
 - 公園内の適切な管理運営を実施。
 - 草刈り及びゴミ拾い等の実施。
 - 樹木等の剪定の実施。
 - 遊具・ベンチ等の点検及び修繕等の実施。
- ⑤ 屋外公衆トイレ管理業務。
 - 公衆トイレ2棟の清掃（毎日）等の管理業務を実施。
 - *東側トイレは排水パイプ破損により2月より使用停止状態。

(3) 碓氷峠の森公園「くつろぎの郷」管理運営事業

- ① 宿泊滞在施設「コテージ7棟」の適切な管理運営を実施。
 - 利用棟数 846棟
- ② 体験実習館並びに屋内交流広場・四阿の適切な管理運営の実施。
 - 使用人数 1,529名
- ③ 施設及び設備等の点検修理を実施。
 - コテージ3棟のテラス改修など。
- ④ 駐車場及び園内の草刈り・樹木等の剪定等の清掃を随時実施。

(4) 峠の横丁草刈り作業実施

安中市より委託により5回実施。

(5) 会議の開催等

① 評議員会

- 第1回 平成23年 5月27日
- 第2回 平成23年11月18日
- 第3回 平成24年 3月26日

② 理事会

- 第1回 平成23年 5月27日
- 第2回 平成23年11月18日
- 第3回 平成24年 3月26日

③ 監 査

平成23年 5月13日

